



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月23日

上場会社名 小松ウオール工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7949

URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加納 裕

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 熊田 雅巳 (TEL) 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,620	12.5	384	204.8	392	193.5	244	266.1
2019年3月期第1四半期	6,774	3.9	126	-	133	163.4	66	375.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	26.55	-
2019年3月期第1四半期	7.25	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	38,256	32,096	83.9
2019年3月期	39,300	32,247	82.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 32,096百万円 2019年3月期 32,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	30.00	-	40.00	70.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	35.00	-	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,500	2.4	850	1.9	860	1.6	540	0.7	58.56
通期	36,200	4.5	3,300	8.3	3,330	8.4	2,250	9.8	243.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	10,903,240株	2019年3月期	10,903,240株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	1,677,742株	2019年3月期	1,681,542株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	9,224,496株	2019年3月期1Q	9,221,699株
------------	------------	------------	------------

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(2020年3月期1Q 240,600株、2019年3月期 244,400株、2019年3月期1Q 244,400株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」の記載事項をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中間通商問題の影響による海外経済の不確実性や金融資本市場の変動による影響への懸念は残るものの、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況にあって当社は、生産部門においては、従来から進めてきた「見える化」のさらなる進展を計り、IoTを駆使した生産性向上活動への取り組みを一層進めております。また、営業部門においては、本社技術者の同行営業に一層注力したことにより、設計指定額が堅調に増えております。さらに、階層別に営業教育を充実させたことに加え、3ヶ月先行管理の徹底を図ったことにより見積獲得額も堅調に推移しており、受注高及び受注残高にその効果が現れております。

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、官公庁向けでは学校・体育施設等の公共施設の売上が好調に推移しており、民間向けではオフィス、福祉・厚生施設を中心に好調に推移しております。品目別では、可動間仕切や固定間仕切、トイレブース、移動間仕切の売上が好調に推移しております。

売上高全体としては76億200万円となり、前年同四半期と比較して12.5%の大幅な増加となりました。受注残高におきましても、前年同四半期比1.5%の増加となっております。

利益面につきましては、業務の効率化を図るなど生産性の向上に努めた結果、売上総利益率は34.0%となりました。その結果、他の四半期会計期間と比べ、需要が少ない傾向にある第1四半期累計期間ではあるものの、増収効果により、営業利益は3億8400万円（前年同四半期比204.8%増）経常利益は3億9200万円（前年同四半期比193.5%増）、四半期純利益は2億4400万円（前年同四半期比266.1%増）となりました。

当第1四半期累計期間の品目別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりです。

品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)						
品目	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)
可動間仕切	2,953	109.9	3,379	119.5	3,137	129.2
固定間仕切	1,720	120.6	2,242	109.2	5,026	100.8
トイレブース	1,216	113.1	1,786	108.0	3,038	102.6
移動間仕切	1,305	117.8	1,642	86.4	4,428	91.0
ロー間仕切	160	100.9	172	99.9	75	96.8
その他	265	83.0	316	76.4	273	64.2
合計	7,620	112.5	9,539	105.7	15,980	101.5

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は382億5600万円となり、前事業年度末と比較して10億4400万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は240億7000万円となり、前事業年度末と比較して7億8200万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金20億2000万円等の減少と、現金及び預金12億6500万円等の増加によるものであります。固定資産は141億8500万円となり、前事業年度末と比較して2億6100万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産1億1700万円、投資その他の資産1億3600万円等の減少によるものであります。

負債の部では、流動負債は45億5700万円となり、前事業年度末と比較して9億4000万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等7億9900万円、買掛金6億2100万円、賞与引当金5億5300万円等の減少と、流動負債「その他」に含まれる未払金10億6700万円等の増加によるものであります。固定負債は16億1000万円となり、前事業年度末と比較して4600万円の増加となりました。

純資産の部では、純資産の総額は320億9600万円となり、前事業年度末と比較して1億5000万円の減少となりました。これは主に、剰余金の配当3億7800万円による利益剰余金1億3300万円等の減少によるものであります。以上の結果、自己資本比率は83.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,296	12,561
受取手形及び売掛金	10,592	8,571
電子記録債権	2,145	2,055
有価証券	10	—
たな卸資産	708	787
その他	98	93
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	24,853	24,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,022	10,058
機械装置及び運搬具	6,689	6,726
土地	4,663	4,663
その他	975	984
減価償却累計額	△10,531	△10,731
有形固定資産合計	11,819	11,702
無形固定資産	412	405
投資その他の資産		
その他	2,224	2,085
貸倒引当金	△10	△8
投資その他の資産合計	2,214	2,077
固定資産合計	14,447	14,185
資産合計	39,300	38,256
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,013	1,392
未払法人税等	840	41
賞与引当金	1,100	547
その他	1,543	2,577
流動負債合計	5,497	4,557
固定負債		
退職給付引当金	1,265	1,298
役員退職慰労引当金	86	86
役員株式給付引当金	121	126
その他	79	89
固定負債合計	1,554	1,601
負債合計	7,052	6,159

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	28,729	28,595
自己株式	△2,688	△2,682
株主資本合計	32,176	32,048
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	71	48
評価・換算差額等合計	71	48
純資産合計	32,247	32,096
負債純資産合計	39,300	38,256

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	6,774	7,620
売上原価	4,462	5,033
売上総利益	2,312	2,587
販売費及び一般管理費	2,186	2,203
営業利益	126	384
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
受取家賃	5	5
その他	2	2
営業外収益合計	14	14
営業外費用		
売上割引	6	5
営業外費用合計	6	5
経常利益	133	392
税引前四半期純利益	133	392
法人税、住民税及び事業税	16	17
法人税等調整額	50	129
法人税等合計	66	147
四半期純利益	66	244

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。